うちゅうせん通信

広報係 2025年8月23日(土)発行 第26号

☆2025年度の例会☆ 9月20日		毎回土曜日、14時開始
10月18日	1月17日	場所は仙台市天文台
11月22日	2月21日	(2階・学習室)
※12月20日	※3月21日	※場所:市中心部(サボセン15時予定)
星空 ◎: 好天	△: 僅かに観望	×: 不可

☆ 仙台市天文ボランティア会報 ☆

実施日	観望会実施場所	参加人数	開始時刻	終了時刻	星空	投影	スタッフ数	天候	主な内容
■ 1.18(土)	例会(第10回)	—	14:00	16:00	—	—	8名	—	新年最初の例会、仙台市環境プログラム、勉強会について
■ 2.15(土)	例会(第11回)	—	14:00	16:00	—	—	6名	—	永井さんによる望遠鏡の勉強会と、総会日程、近況報告など
■ 3.22(土)	総会(24年度)	—	15:00	17:00	—	—	5名	—	24年度のめと、終了後は懇親会
■ 4.19(土)	例会(第1回)	—	14:00	16:00	—	—	9名	—	年度最初の例会、船長交代とボランティア保険について
☆ 5.3(土)	えぼしリゾート	21名	20:10	21:15	×	有	2名	曇	小雨から曇になり、観望会を実施したが星は見れなかった。
★ 5.4(日)	えぼしリゾート	78名	20:10	21:15	◎	有	2名	晴	強風の中、参加の皆さんが頑張って星を見て頂いた観望会
★ 5.5(月)	えぼしリゾート	38名	20:10	21:15	◎	有	3名	晴	屋間が暑く軽装で途中リタイヤの方が多かった観望会
■ 5.17(土)	例会(第2回)	—	14:00	16:00	—	—	10名	—	乗組員全員揃ったレア会のため、記念撮影しました。
■ 6.21(土)	例会(第3回)	—	14:00	15:30	—	—	8名	—	7月以降の観望会の依頼状況とメンバー選定、スライド確認
■ 7.19(土)	例会(第4回)	—	14:00	16:00	—	—	9名	—	8月中の観望会の予定参加メンバー選定
☆ 7.19(土)	えぼしリゾート	12名	20:15	21:15	◎	有	2名	晴	夏えぼしの初日、機材トラブルに振り回された観望会
★ 7.20(日)	えぼしリゾート	50名	20:15	21:15	◎	無	2名	晴	50名の大人数で盛況だった満天の星空の観望会
☆ 7.26(土)	えぼしリゾート	15名	20:10	21:00	△	無	2名	曇	曇りで星は見えないが涼しい夜風の中で街を見下ろして観望
★ 8.3(日)	えぼしリゾート	15名	20:00	21:00	△	有	2名	曇	曇天バージョンの予定が最後晴れて星を見れた観望会
★ 8.8(金)	えぼしリゾート	38名	20:00	21:00	△	有	2名	曇	曇りの中で、明るい月だけ望遠鏡で見れた観望会
★ 8.9(土)	泉ピークベース	40名	19:30	20:15	◎	有	4名	晴	「アドベンチャーフェスティバル」イベントで実施された観望会
★ 8.9(土)	えぼしリゾート	80名	20:20	21:20	◎	有	2名	晴	今年度参加者数が最も多く快晴になった観望会
★ 8.9(土)	メルキュールホテル	120名	20:00	21:00	◎	有	2名	晴	満月と明るい星を楽しんでもらい多くの参加を得られた
☆ 8.10(日)	メルキュールホテル	14名	20:20	21:20	◎	無	2名	雨	雨の中、曇天バージョンだけで進めた観望会
☆ 8.11(月)	メルキュールホテル	30名	20:00	21:00	×	有	2名	曇	前日に続いて曇天バージョンで質問コーナーが主の観望会
★ 8.11(月)	えぼしリゾート	19名	20:20	21:20	◎	有	2名	曇	曇天の中、ゴンドラ山頂では星が見られた観望会
☆ 8.12(火)	メルキュールホテル	10名	20:00	21:00	×	有	2名	曇	天候に恵まれず曇天バージョンとなった観望会
★ 8.13(水)	えぼしリゾート	19名	20:20	21:20	△	有	2名	曇	曇天から徐々に晴れて星が見られた観望会
★ 8.14(木)	えぼしリゾート	10名	20:20	21:20	◎	有	6名	曇	ゴンドラ山頂は晴れたので肉眼と望遠鏡で観望が出来た。
★ 8.15(金)	えぼしリゾート	97名	20:20	21:20	△	有	2名	曇	ちょっとだけ星が見えたが、その後雲に覆われた観望会
★ 8.16(土)	えぼしリゾート	30名	20:20	21:20	△	有	6名	曇	雲の合い間に星が見えた観望会で流れ星は探せなかった。
★ 8.17(日)	えぼしリゾート	19名	20:20	21:20	△	有	2名	曇	強風のため望遠鏡が使えず、肉眼で星を見ていただいた。

☆ 観望会のようす — 令和7年 —

☆ えぼしリゾート・観望会【2025年5月3日(土)報告:永井】

今年から受付時間が夕食後の19:00~20:00になり、観望会は1時間ほど遅い開始になりました。挨拶の後、「今月の星空説明」雨も降っており、星は見られませんが、じっくり説明させて頂きますの前振りでの開始でした。事細かな説明を皆さん熱心に聞いていました。星空説明の途中でお出でになった方が二人の小学生を連れてお父さんと、そのしばらく後に女性二人の5名が到着、最終的に参加者は21名となりました。その後、スライドで「宇宙望遠鏡」と撮影された写真を見てもらい、その後模型を使って「土星の環の消失」と直径10Cmのボール紙を、天の川銀河や太陽・地球に見立てた時の距離の話をしました。

★ えぼしリゾート・観望会【2025年5月4日(日)報告:西口】

今日は雲がどんどん流れて来ているので星はあまり見られないかも、とお話した上で今月の星空。その後一応外に出てもらうと、雲は少しありましたが星空が広がっていました。北斗七星、ミザール&アルコルに挑戦、春の大曲線、月、火星などを肉眼で楽しんでもらいました。「かにみそ」は見えませんでした。火星を手がかりにこの辺りを感じてもらえたようです。しばらく見た後で雲が出てきたのと、風が冷たすぎたので再び中へ。星座物語「まいごになったインディアン」は大人も聞き入っていました。まだ少し時間があつたので10問の天文クイズをして終了となりました。強風のため望遠鏡は使いませんでした。

★ えぼしリゾート・観望会【2025年5月5日(月)報告:大石】

先に到着した方から順に、月と木星を望遠鏡で見ってもらうことにしました。月はクレーターを、木星は木星とガリレオ衛星が見れました。結構な人数が並んだので、簡単に見える星々の説明(木星、ふたご座、火星、しし座、北斗七星、春の大曲線からのうしかい座とおとめ座)をしました。8時には、室内に入ってもらって、記念の写真を選んでもらって、開始しました。外が晴れているので、今日の星空は簡単になりました。多くの方が外での星座の話聞いていたので、確認できたかなと思いました。火星の近く人はカニ座、月はしし座の顔あたりにあつたので、よく見られなかったのですが、晴れて月のないときに見てほしいと思いました。次に、土星の輪の説明をしました。外に出てみると曇に覆われ月がようやくわかるくらいでした。永井さんにその事を伝え、説明を少し長めにしてから、外に出てもらい雲越しの月や星を見ました。9時になり、観望会を終了しました。8時前に一通りの星を見てもらったので、後半曇ってしまいましたが、来られた方はほぼ満足だったように思われました。

★ えぼりリゾート・観望会 【2025年7月19日(土)報告:永井】

夏編がスタートし、本日が初日でした。今回から受付時間が19:30~20:00と短縮されましたので、参加者集合のバラツキは改善されると思います。外に出て貰いました。星が見られるか?の心配に反し、晴れ間が広がり満天の星空になりました。外に出てから、室内で説明した内容を本物の星を見ながら大石さんが説明しますから、全員が納得しながら聞いていました。出した望遠鏡は1台のみで、こちらも大石さんがアルビレオを見てもらっていました。外が始まってからの到着は、おばあちゃん・若いご夫妻・小学生の兄、妹の5人家族、東京から・・・との事でしたので、東京では星は見られないでしょうね?と言ったら、小学生の僕が「生まれて初めて星を見た!」と...貴重な体験?天の川を見ていただけました。

★ えぼりリゾート・観望会 【2025年7月20日(日)報告:伊川】

19時10分過ぎにゴンドラに乗り込み到着後、写真・PCの準備・望遠鏡を2台準備しました。まだ空は若干明るかったのですが、ベガ・アンタレス・アルクトゥルス・スピカが確認出来ました。西の山の上には、今にも沈みそうな火星も見えました。外の照明を消してもらい、反射望遠鏡でアルビレオのサファイアとトパーズの色、アンタレスの赤色を見てもらいました。大阪から来たという男性3人組はアンタレスの赤色に感激していました。また、北斗七星・カシオペアからの北極星探し、夏の大三角・春の大曲線も見てもらえました。天の川を雲だとも思ったという方たちが以外と多くいらっしゃいました。21時15分終了の時刻になったので、照明を点けてもらい満天の星空の観望会を終わりました。。

★ えぼりリゾート・観望会 【2025年7月26日(土)・報告:渡辺】

一面の雲の中にさそり座のアンタレスが見えたので始まる前に到着された方に見てもらいました。室内は写真をプレゼントし、その後時間となり、あいさつ、今日の星空の後、外に出てもらいました。室内は暑いので、外の方が気持ちよかったです。しかし星は見えず、双眼鏡や望遠鏡で仙台方面を見てもらうことぐらいいかできませんでした。参加の方で、バスで来られた方は、21時に帰りの便が発券するので、途中で山を降り10名ほどが残りました。星は見えないですが、興味を持って質問いただく中で盛り上がり、室内のスライド等は取止め、仙台空港を双眼鏡で見てもらいながら時間まで過ごしていただき終了、下山となりました。

★ えぼりリゾート・観望会 【2025年8月3日(日)・報告:小林】

先に到着した方から室内で写真を選んでもらいました。シャトルバスの方を待って20:10ごろスタート。今日の星空、星の仙人(星座物語)の後、星も夜景も見えませんが、と断って外に出てもらいました。先に帰る方がいたのでしばらく灯はついたままでしたが、そのうち消してもらって、何も見えない暗い中、植村さんが七夕やベガルタ仙台、星の色、ミザール&アルコール、今までにみたすごい流れ星の話などをして皆さん聴き入っていました。東京から来たという男の子が、星を見たかったととても残念そうでしたが、20:50にそろそろ終了を宣言してゴンドラの明かりをつけてもらいました。すると・・・天頂付近に星がぼつり。ベガでした。それから夏の大三角が見え、他の星も見えてきました。無理を言うのもう一度明かりを消してもらおうとそこには満天の星空が広がっていました。東京の男の子が晴れ男だったようです。大きな北斗七星、アークトゥルス、カシオペア、アンタレス等ちょうど沈みかけの月のあたりだけうすら雲があったせいか、大三角のあたりに天の川も確認でき、奇跡のような星空を楽しむことができました。

★ えぼりリゾート・観望会 【2025年8月8日(金)・報告:石垣】

本日の星空を説明後早速外へ。月明かりと雲の為、望遠鏡で見せたのは月のみ。お客様のスマホを固定し写真撮影会。あとは寝転がって星空を眺めました。

★ 泉ピークベース・観望会 【2025年8月9日(土)・報告:小野寺】

19時半集合、開始は20時だったと思うのですが、特にアナウンスもなく、望遠鏡設置後、19時半過ぎからそのまま開始。8cm望遠鏡でメインに満月を、6cm望遠鏡ではアルビレオを導入して観望してもらいました。なにせ満月が出ていたので、夏の大三角やアンタレスなどしか見えない状態。それでも月を望遠鏡で見て喜んで貰えました。アルビレオはオレンジとブルーの色の対比が綺麗なのですが、透明があまり良くな6cmの望遠鏡だったので、色の対比のインパクトは弱め。それでもお子さんにもブルーとオレンジの色の違いが見えたようです。21時の終了近くでは、カシオペア座、おおぐま座も北の空に何とか確認出来ました。

★ えぼりリゾート・観望会 【2025年8月9日(土)・報告:小林】

全天曇りの状況で、4台の観測機材は、夜景バージョンになり、小学校の中学年低学年に楽しんでもらいました。泉のシェルコム仙台や仙台のビル群をみていましたがアウトレットの観覧車が赤く見えていたので一番の人気だったようです。なかなか晴れないなか、遠くの火花がみえたり定義の花火の音が聞こえてきました。小さなお子さんたちは、暗い中走り回って遊んでいました。しばらくすると、ベガ、アルタイル、デネブが見えだして、見られた方々とそれぞれ星座の話等をしながら楽しんでいました。この時は小さなお子さんたちの姿はなくなっていました。アルビレオを望遠鏡で見た方も数人いました。北斗七星がかるうじて見られたり、人工衛星を確認できたり、後半は多少でも星が見られてよかったです。参加者は、30名の他に周辺でいろいろなイベントがあったので、流し込み方式で観望会をやった感じでした。

★ メルキュールホテル観望会 【2025年8月9日(土)・報告:西口】

始まる頃には雲が出てきて月も隠され、時々何かの星がチラッと見える程度。写真を選んでもらい、時間通りにスタートしましたが、次々とお客さんが来る状況でした。永井さんが80名まで数えましたが、その後も増えて立ち見の方が多数いました。挨拶、今日の星空と進んだところで担当の泰地(たいじ)さんから「晴れてきましたよ」との連絡があり、外に出てもらいました。満月の影響で明るい星しか見えませんが、夏の大三角、はくちょう座、さそり座は頭とアンタレス。アークトゥルスにカシオペア、おおぐまのしっぽの先っぽ。雲があったので多分この辺の北極星。望遠鏡では眩しいけどきれいな満月とアルビレオを見てもらいました。永井さんの「ツキをつかむ」技も見せてもらいお客さんは大喜び。その方がアルビレオを見ていた時、流れ星が見えたそうで、ツキをつかんだおかげだわ、とうれしそうでした。雨予報もあった中、晴れて月や星を見ることができました。【以降の観望会は次号掲載します】

◆ 編集後記 ◆

◆ うちゅうせんの発足は平成9年7月、発起人の植村さんから仙台市天文台で実施しているボランティア養成講座の修了者で独自に活動していきたいとの発案により、検討を重ねながらのスタートでした。進め方や、曇天時のクイズや星座物語の作成、勉強会や合宿に取り組みながら活動してきました。その後、ボランティア養成講座の終了によりメンバーが増えなくなり、天文台の移転や、東日本大震災などを経て現在に至っています。28年目の今年、代表者が変更となり、ホームページに代表あいさつと沿革について掲載しました。メンバー(乗組員)の固定化と高齢化の中ですが、無理せず楽しみながら星空のすばらしさを共有していきたいと思えます。(辺)